

4月12日（日） 2026年度春季リーグ戦第2節2回戦

【試合結果】

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
阪南大	0	0	0	1	0	0	0	0	4	5
阪公大	1	1	0	3	0	0	2	0	X	7

阪南大学(3塁側)

対

大阪公立大学(1塁側)

【打者成績】

打順	守備	名前	学年	出身校	打数	安打数	打点	
1	右	澤田哉	2	広陵	4	2	1	
2	左	澤田大	2	広陵	3	1	0	
	左	萩野	2	大阪学院大学	1	0	0	
	打	鈴木	2	福知山成美	1	1	2	
3	一	中村	2	済美	5	1	0	
4	捕	中濱	4	履正社	2	0	0	
	打	山西	1	明石商業	1	0	0	
	捕	谷岡	2	明石商業	0	0	0	
5	指	大倉天	4	榎原学院	4	2	1	
6	三	由谷	4	鳴門	2	0	0	
	打三	吉田	3	広島工業大学	2	1	0	
7	遊	高橋	3	広陵	2	1	0	
	打	奥	3	広陵	1	0	0	
	遊	榮	3	興譲館	1	1	0	
8	二	川西	3	石見智翠館	3	0	0	
	打	光吉	3	広陵	1	0	0	
9	中	裏野	4	石見智翠館	4	2	1	
投		河村	3	小松大谷	-	-	-	
		菅	2	尾道	-	-	-	
		坂下	2	名張	-	-	-	
合計	三振	四死球	犠打・犠飛	併殺打	盗塁	打数	安打数	打点
	4	2	0	1	1	37	12	5

【打者成績】

打順	守備	名前	学年	出身校	打数	安打数	打点	
1	中	根来	4	府立生野	4	2	1	
2	遊	林	3	大阪明星	5	4	2	
3	指	前田	4	彦根東	3	1	1	
	打指	田中創	4	金沢桜丘	1	0	0	
4	一	菱田	3	関西大倉	2	1	1	
5	二	田中大	3	彦根東	4	1	0	
6	三	越智	2	乙訓	3	0	1	
7	左	上岡	3	泉陽	2	1	1	
8	捕	小田	3	一条	4	1	0	
9	右	野田	3	須磨学園	4	1	0	
投		利川	3	西大和学園	-	-	-	
		山本	4	清教学園	-	-	-	
		川田	4	奈良県立郡山	-	-	-	
合計	三振	四死球	犠打・犠飛	併殺打	盗塁	打数	安打数	打点
	7	4	3	1	3	32	12	7

名前	回数	投球数	打者数	打数	被安打	奪三振	四死球	失点	自責点
河村	1 2/3	44	11	7	4	1	3	2	2
菅	2 1/3	45	12	10	4	2	1	3	3
坂下	4	69	16	15	4	4	0	2	1
合計	8	158	39	32	12	7	4	7	6

名前	回数	投球数	打者数	打数	被安打	奪三振	四死球	失点	自責点
利川	8	111	31	29	7	4	2	1	1
山本	2/3	32	7	7	5	0	0	4	4
川田	1/3	1	1	1	0	0	0	0	0
合計	9	144	39	37	12	4	2	5	5

昨日の敗戦から気持ちを切り替え、必ず3戦目に繋げるべく、チーム一丸となって試合に臨みました。

本日の先発は利川（経3・西大和学園）。先頭打者に安打を許しますが、捕手小田（医3・一条）が盗塁を阻止します。その後、安打と四球で得点圏に走者を背負うものの、落ち着いた投球で後続を抑え、先制を許しません。

一方の攻撃はその裏、先頭の根来（経4・府立生野）が内野安打で出塁すると、今季6つ目の盗塁を決めてチャンスを広げます。続く林（工3・大阪明星）の内野ゴロの間に三塁へ進むと、主将前田（現4・須磨学園）の適時打で1点を先制します。

さらに2回、先頭の越智（経2・乙訓）が四球で出塁し、上岡（工3・泉陽）が犠打を決めて得点圏へ進めます。小田が粘って安打を放ち、根来が四球で繋ぐと、林の安打でさらに1点を追加します。

利川は2回、3回と走者を出しながらも粘り強い投球で得点を与えません。しかし4回表、一死からレフトへ本塁打を浴び、1点を返されます。

すぐに取り返したいその裏の攻撃は、上岡と野田（現3・須磨学園）の安打で一二塁のチャンスを作ると、根来、林の連続適時打で2点を追加します。さらに前田が四球を選び満塁とすると、4番菱田（農3・関西大倉）の犠飛で1点を加えます。

利川は尻上がりに調子を上げ、6・7回を三者凡退に抑える安定した投球を見せます。

7回裏、菱田の内野安打に失策が絡み二塁まで進むと、田中大（経3・彦根東）の安打と盗塁で無死二三塁。越智の内野ゴロ、上岡の犠飛で2点を追加し、リードを広げます。

8回表、2本の安打で二死一三塁とされますが、ここも後続を打ち取り得点を許しません。利川は8回1失点の好投で、先発としての役割をしっかりと果たし、マウンドを降ります。

守り切りしたい最終回、山本（文4・清教学園）がマウンドへ上がると、先頭から三連打を浴び、満塁のピンチを招きます。その後、一死を奪いますが、2本の適時打と内野ゴロで4点を返されます。ここで川田（理4・奈良県立郡山）が登板。これ以上の失点は許されない緊迫した場面ですが、落ち着いて初球をセンターフライに打ち取り試合終了。7-5で勝利いたしました。